

手づくり無添加ドッグフードの特異性や優位性を推し進める

課題

縮小するドッグフード市場で いかに成長していくか

受注製造による国産無添加ドッグフードの製造・販売事業を展開している株式会社フェアリーSガーデン。食品問屋から仕入れた人間用の原材料を使用し、すべて検査したうえで自社工場内で加工。材料を自分たちの手で下ごしらえし、攪拌機と粒状機で商品化している。ペット犬の体質を考慮したオリジナルのフードを、オーダーメイドで製造し提供することで、顧客の要望に応え、アレルギー体質のペット犬にも対応。保存料は一切使用しないため保存期間は短い、愛犬の安全な食を求める飼い主が顧客となり、インターネットでの注文が入るなど、顧客は全国各地に広がっている。

小ロット・多品種でそれぞれのペット犬に合ったドッグフードを提供していくことで、市場全体の一部を構成する特定のニーズに向けた事業拡大が最大の経営戦略だ。

しかし、犬の飼育数は年々減少し、ドッグフードの市場も縮小傾向。市場にはイオンや日清製粉など大手企業も参入し、競争環境が厳しさを増しているなかで、いかに今後の規模を拡大していくかが同社の課題となっている。

支援

設備投資で工程を効率化 ニッチ性を強化する

やましろ商工会では、同社に対して創業から6年後の平成24年から支援を継続してきた。課題に対して商工会はまずは、経営革新計画策定の取り組みを提案し、山口県商工会連合会主催のセミナーで計画の策定に着手した。

経営革新計画を策定するうえで、以前から検討していた「アレルギー体質のペット犬に対応したドッグフード」について商品の新たな生産や販売方式の導入を具現化することにした。計画策定にあたっては、専門家派遣事業により中小企業診断士、山口県商工会連合会などと連携して計画書の作成を支援し、平成25年1月に承認された。

経営革新計画の承認後は、補助金活用の選択肢が広がったことで、ものづくり補助金による設備投資を専門家派遣で支援。専門家からは、「真空処理と熱処理を加えることで作業工程の効率化が図れ、保存効果に優れる点からも製造原価が下がる」とのアドバイスがあり、申請にチャレンジすることになった。そして、中小企業診断士と商工会が連携して申請



同社が製造するドッグフードのパッケージ

書の作成支援にあたり、平成28年7月に採択を受けた。採択後に設備投資を実施したことで、作業工程の効率化が図れ、生産性の向上につながった。

さらなる事業拡大を目指し、小規模事業者持続化補助金の申請支援も行っている。PDCAサイクルを実行しながら、その都度、事業所にとって必要な具体的な取り組みを提案し、4回の採択を得ている。各種計画の申請が承認・採択されたことで、経営者の経営計画策定に関する意識が高まり、経営理念や強みなどが再認識できたことも大きな成果だ。

支援の経過

期間	支援内容
H19年3月	創業相談（金融支援など）
H24年11月	経営革新計画の策定支援
H28年1月	ものづくり補助金の申請支援
H26年3月～ 30年7月	持続化補助金の申請支援

会社概要

会社名：株式会社フェアリーSガーデン
 住所：山口県岩国市美和町波前1363-1
 電話番号：0827-96-0960
 URL：http://f-s-garden.com/
 代表者名：代表取締役 佐藤繁樹
 創業年：平成18年
 年間売上高：3879万円（平成29年）
 従業員数：5名
 商工会名・担当者名：やましろ商工会・品川一朗